

富士宮市 ボランティア連絡会だより

第11号

令和3年4月1日発行

会長あいさつ



令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、各団体のボランティア活動もままならず、富士宮市ボランティア連絡会の活動も主な行事はほとんど中止となりました。その中で、「ふれあいトーク～ボランティアまつり～」のパネル展示の部の開催、そして「交流会」で静岡県立富岳館高等学校の皆さんをお迎えできたことは、コロナ禍の中で気持ちが前向きになってきました。パネル展示ではボランティア活動の在り方や展示の工夫を考え、高校生との交流ではお互いのボランティア活動についての理解を深めることができたと思います。皆さんの知恵を出し合いこのコロナ禍を乗り越えましょう。

富士宮市ボランティア連絡会 ってな～に??

富士宮市内で活動するボランティアグループで組織された会です。情報交換及び相互協力を通じて、グループの活動推進と連携を図り、市民への啓発と地域福祉に積極的に参加協力しています!!

活動報告

(令和2年10月1日～
令和3年3月31日)

- ・令和2年10月10日(土)第4回役員会
- ・令和2年11月14日(土)第4回定例会
- ・令和2年12月12日(土)第5回役員会
- ・令和3年1月9日(土)第5回定例会：パネル展示開始
- ・令和3年1月17日(日)ボランティアまつり「ふれあいトーク」：パネル展示(1/9～1/17)
- ・令和3年2月13日(土)第6回役員会
- ・令和3年3月13日(土)第6回定例会・交流会
- ・令和3年3月13日(土)静岡県東部ボランティア交流会：ぬまづ健康福祉プラザ(会長、社協職員 計2名参加)



令和3年3月13日(土)定例会後の交流会では富岳館高校のボランティア部、こども地域福祉系列福祉コースの生徒さんたちの発表があり、多くの刺激をいただきました。孫世代の取り組みに、素直に従います。



ロコモ予防にスクワット い～ち、に～い、さん



コロナ禍での活動

ボランティア活動の在り方
今何が出来るか
何を求められているか

- ①かえるの会
- ②富士宮市観光ガイドボランティアの会
- ③富士宮市民楽友会コールエーコン



令和3年1月17日(日)『ふれあいトーク』でのシンポジウムは中止となりましたので、3名の報告者の皆さんに寄稿をお願いいたしました。予定していたシンポジウムでのパネルの一部と共に3団体の活動を紹介いたします。

平成20年秋に社会福祉協議会主催のボランティア講座を受講して、その仲間の4人で結成しました。ゆずの家という介護施設で毎週土曜日を基本として活動していますが、ほかの曜日にも依頼があると伺っています。スタッフのお手伝い、利用者さんの話し相手や見守りなどをしていますが、昼食後の食器の洗い物をし、洗濯物を干したり、といういろいろお手伝いさせていただいています。一人6種類くらいの食器でするので洗い物には1時間くらいかかってしまいます。また、施設の内外のイベントにも参加させていただいています。10年以上活動をしてきたため、スタッフ、利用者さんたちとの信頼関係もできて、とても楽しく過ごさせていただいています。なお且つ、私たちは「細く、長く」をモットーに活動を続けています。今年度のコロナ禍の中でも地道に活動できたことは本当にうれしく思いました。私たちが大切にしていることは3つあります。健康であること、笑顔であること、そしてボランティアに来させていただいているという気持ちを持って活動することです。

これからも、できる限り、続けたいと思っています。

かえるの会 芹澤 栄

2020年度は、生まれて初めての「新型コロナウイルス」の影響でのマスクを付けての毎日。密閉・密集・密接をさけるという新しい生活が始まりました。緊急事態宣言の時は、ガイドの拠点案内所「寄って宮」も閉所されました。浅間大社を訪れる観光客は1都3県の方が大部分です。本来でしたら、県内の小学生・中学生は、東京・大阪などの県外への修学旅行を楽しみにしていたと思います。ところがコロナ禍の為、浅間大社・遺産センター・白糸の滝など富士宮に来てくれました。ガイドの案内所も2ヵ月ほど閉所しましたが、3月8日から開所しています。三密をさけ、マスク・手指消毒をしっかりと、自分の命は自分で守り、気を付けながらガイド活動を始めました。早く終息すると良いと思っています。

富士宮市観光ガイドボランティアの会 高柳洋子

2021年5月26日、創立14年目となります。創立13年目は最悪の緊急事態宣言に活動は停止。「この虚ろな時を、ただただ無駄に過ごしてなるものか。共に生き抜くためには何が必要で、何を必要とされているか。」暗中模索、臨機応変な対応策を練りました。歌ったり踊ったり体操したりという今までの活動はできない。しかしこれは、生命維持には必要な身体活動である。『身体も脳みそも筋肉!』『鍛えれば、免疫力アップ!』のメッセージに、ポジティブに楽しく生きる思いを込めて伝えるチャンスかもしれない。今の自分達にできることから始めました。映像の力を借りました。パソコンとプロジェクターを使い、そこから発信しました。「見て聴いて一緒に動きましょう、考えましょう、心の中で歌って笑って!」歌やダンス・軽体操に加え、クイズやカラオケ・映画…など思いつくものを構成していきました。だから二人だけの活動となりましたが、きっと間もなく、みんなが大声上げて歌い踊りできる日が来る。その日まで会の仲間には自習しておいてもらいましょう。

富士宮市民楽友会コールエーコン 佐野宏子



富士宮市ボランティア連絡会は

「共同募金助成事業」の助成を受けて活動をしています。

事務局 富士宮市社会福祉協議会 地域ささえあい係 TEL 22-0054



ボランティアまつりふれあいトークへの児童生徒参加

ボランティア連絡会が
～ふれあいトークを開催～

平成19年1月28日：高校生による活動発表
平成21年1月25日：地域福祉教育実践校の活動発表
(井の頭小、大宮小、富士根南小)



ボランティアによる寸劇



広がれ
ボランティア！

富士宮市ボランティア連絡会(増子明美会長)による、「ふれあいトーク」が1月25日(日)に開催されました。多くの皆様にご参加いただき、ボランティアに対する関心の高さがうかがえました。



平成23年1月23日：学校でのボランティア活動発表
(井の頭小、上井出小、富士根南中)



ボランティアまつり
ふれあいトーク
開催しました

富士宮市ボランティア連絡会では、平成23年1月23日(日)、総合福祉会館安藤記念ホールを会場に、ボランティアまつり『ふれあいトーク』を開催しました。各ボランティア団体が、活動紹介としてパネル展示やボランティア相談、活動体験、バザーなどを行い、ステージでは、静岡県地域福祉教育実践指定校「井之頭小学校」「上井出小学校」「富士根南中学校」が福祉学習の取り組みについて発表を行いました。子ども達の多彩な取り組みに来場者も感心し聞き入っていました。午後の部では、日頃より施設や地域の行事などで披露している銭太鼓や民謡、剣舞などが賑やかに発表されました。



△井之頭小学校



△大宮小学校



△富士根南小学校



△井之頭小学校

平成24年1月22日：学校でのボランティア活動発表
(上井出小、柚野小)



平成25年1月20日：富岳館高校地域寄り合い処太陽
黒田小焼きそば探求クラブ

平成26年1月19日：富士宮東高校



小さな子供たちも習い事の踊りて、高齢者施設の慰問や地域の行事に参加して皆さんを和ませてくれます

ボランティア活動の一步を踏み出してみよう！

平成27年1月18日：大宮小

“ふれあいトーク開催”



▲大宮小学校の活動報告

1月18日(日)にふれあいトークが開催されました。このイベントは、地域の皆さんにボランティアについて知ってもらい、活動へ一歩踏み出すことを応援するため

に毎年開催されています。各団体の紹介や各ブースでの作品作りや体験、舞台発表が行われました。今回は大宮小学校の皆さんや藤枝市ボランティア連絡協議会の皆さんの参加もあり、交流と、理解を深めることが出来ました。ふれあいトーク開催後、舞台発表をした団体へのボランティア依頼もあり、活動について知ってもらい、活動へ一歩踏み出すことを応援するため



▲ボランティア団体の活動紹介



平成28年1月17日：富丘小



平成30年7月29日：富岳館高校寄り合い処太陽を福祉会館ふれあいロビーにて再現し、体操や歌をともに楽しみました



令和元年度 ボランティアまつり
ふれあいトーク

高校生ボランティア16人に受付等のお手伝いを依頼。最後に全員ステージで2020年東京オリンピック・パラリンピック応援ソング「パプリカ」を踊りました。

令和3年1月17日(日)ボランティアまつり～ふれあいトーク～は、直前まで開催を予定していましたがコロナ禍の中、断念せざるを得ませんでした。予めパネル展示を1週間ほどの期間を設けたことは幸いでした。各々の団体が趣向を凝らし、活動の紹介をしました。この1年休止しつつも、過去をしっかりと見つめなおし、新たな課題を見つけることができたのではないのでしょうか。決して無駄ではなかったといえる令和2年度であり、令和3年度には更なる飛躍がありますように！

令和2年度ふれあいトーク：パネル展示



背面中央で、活動紹介のビデオを流していました。